

令和4年1月24日

新型コロナ感染症感染予防の徹底

公益財団法人全日本剣道連盟は、第118回全日本剣道演武大会開催に当たって、新型コロナ感染症感染予防を徹底しております。

基本的な感染予防策は、「対人稽古に関する感染予防ガイドライン」(令和3年8月4日付)及び「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」(8月2日付)を策定し周知徹底しているところですが、出場される選手は改めてこれらガイドラインを見直すとともに、特に、下記の事項を遵守してください。

都道府県剣道連盟にあっても、出場選手を適切にご指導されるようお願いいたします。

特に遵守すべき事項

- 日常生活における基本的感染防止策の徹底
 - マスク着用、手洗い、消毒、3密（密集、密接、密閉）の回避
- 食事時の注意
 - 多人数で食事をしない
 - 食事は、通風、換気の良い場所で行う
 - 食事中は会話をしない（黙食）、会話をするときはマスクを着用
- 稽古における防止策の徹底
 - マスク・シールドの着用
 - 道場・更衣室の換気
 - コロナ禍における暫定的試合審判法の遵守
- ワクチン接種
 - 2回接種を強く推奨
- 新型コロナウイルス検査の徹底
 - 発熱、倦怠感、味覚障害等の症状がある場合、医師の診察受診と検査を実施
 - 稽古仲間に、又は稽古場所において、新型コロナ感染症疑いが発生した場合、濃厚接触者の認定の有無にかかわらず、必ず検査を受けること
 - 以上の場合、所属都道府県剣道連盟に報告すること
- 周囲にも徹底
 - 上記遵守事項は、本人のみならず、所属団体（職場・大学剣道部、所属道場等）にも徹底すること